



## TOPICS

- ・ 秋季リーグ戦に向けて！  
5 リーグ対抗戦  
総合関関戦
- ・ 秋季リーグ戦開幕！
- ・ チャレンジリーグ
- ・ 新設！KBF BOOKS
- ・ 編集後記



KANSAI UNIV. BASEBALL TEAM

# 秋季リーグ戦に向けて！

春季リーグ戦は6勝8敗1分、第4位と悔しい結果に終わりました。悔しい思いを味わった分、選手たちはより一層強い気持ちで夏季練習期間の練習に取り組んできました。チームとしては、4年ぶりに関東遠征を実施。青山学院大学、法政大学、明治大学の3チームと試合を行い、確かな手ごたえを掴みました。充実の夏季練習期間を終え、いよいよ秋季リーグ戦が開幕します。常日頃から応援してくださっている方々の期待に応えられるよう優勝を目指し頑張りますので、変わらぬご声援をよろしくお願い致します。今回のニュースレターでは、春季リーグ戦が終わってから、秋季リーグ戦までの野球部の取り組みを振り返ります。野球部の新たな取り組みも紹介していますので、ぜひ最後までチェックしてみてください！

## 5 リーグ対抗戦

6月21日～6月23日にかけて行われた5リーグ対抗戦で、関西学生野球連盟は3年連続11回目の優勝を決め、秋の明治神宮大会出場が懸かる関西地区代表決定戦でのスーパーシード権を獲得しました。森翔(商4・鳥取商)、倉川(文4・桜宮)、高野(商3・出雲商)、久保田拓(社2・津田学園)の4名が関大から出場し、それぞれの持ち味を発揮して勝利に貢献しました。今回、優秀賞を獲得した森翔に話を聞きました！



森 翔平

倉川の活躍ぶりを見て、倉川が優秀賞だと思っていました。自分が優秀賞だと知ったときは、まさかという感じでした。ただ、打者を抑えて関西学生野球連盟のスーパーシード権獲得に貢献できたことは素直に嬉しいです。また、レベルの高い選手と一緒にプレーすることで、自分自身とても良い経験となりました。秋のリーグ戦こそは、チームの勝利に貢献し、必ず優勝へ導きます。ご声援よろしくお願い致します。

相手	勝敗	スコア	戦評
関西六大学野球連盟	○	4-3	6回に倉川の適時打でリードを奪うと、この回からマウンドに上がった森翔が3回を無失点、5奪三振の好投で相手打線を封じ、決勝進出を決めた。
近畿学生野球連盟	○	5-0	1点リードで迎えた2回、倉川の本塁打などで4点を奪い相手を引き離すと、途中出場の久保田拓が投手陣を盛り立て無失点勝利で優勝を決めた。

# 総合関関戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
関学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
関大	2	1	1	0	0	0	5	2	×	11

6月9日、関西学院大学第3フィールドにて、第42回総合関関戦が行われました。4年生を主体としたメンバーで臨んだ一戦。打っては14安打11得点、投げては7安打1失点に抑え、快勝しました。総合成績では引き分けとなった今大会ですが、野球部は2年連続の勝利を収めました。毎年、リーグ戦とは一味違った、真剣で熱い戦いを繰り広げています。今回は、さまざまな想いを持って挑んだ4年生に話を聞きました！

4年生で挑んだこの試合、しっかり勝って嬉しかったです。試合を通して、ベンチが声を途切らせることなく、盛り上がっていて、とてもいい雰囲気の中でプレーできていたことが印象に残っています。この学年で大学野球ができて良かったと改めて感じました。

チーム全体が最高の状態で試合に臨めました。普段主戦力の者、そうでない者も関係なくまとまれていることが自分たちの強みだと思います。ここからはそれぞれの立場は異なりますが、秋日本一という目標に向けて全員で戦います！！

4年生だけで行う最初で最後の試合でした。苦楽を共にした同期はやっぱりいいものだと感じました。例年以上に仲がよく絆が深い同期だという自信があります。最後まで最高の同期と突っ走りたと思います。

池田伊吹(商4・関大一)

田中聖也(文4・上宮太子)

福岡昂大(人間4・松山中央)

総合関関戦では4年生が一体となり、素晴らしい試合で勝利を収めることができました。この勢いそのままに、悲願であるリーグ優勝を達成する為にチームの一員として貢献していきたいです。

総合関関戦では、チームとしても、個人としても、練習の成果を発揮できました。また、同期の心強さや、野球の楽しさを再確認できた最高の機会にもなりました。秋のリーグ戦でも何らかの形でチームの勝利に貢献したいです。

4年間の集大成として臨みました。入部当初、人数の多さとレベルの高さに圧倒されましたが、同期の野球に対する姿勢を見て、頑張ろうと思えました。関関戦で、その同期と同じグラウンドでプレーすることが出来て、感謝でいっぱいです。

大 棚 光(経4・塔南)

青倉風助(経4・篠山鳳鳴)

斎木大史(経4・関西大倉)

人生で初めて応援団が応援してくれている中でプレーが出来て、すごく感動しました。自分自身、満足のいく結果は残せませんでしたが、改めて自分の立ち場を確認できました。最後のシーズンをいい形で終わられるように、今後も頑張っていきたいです。

初めて袖を通したリーグ戦のユニフォームは母のような温かさがあり、父のような責任感に包まれました。その中で試合はとても楽しく幸せな時間でした。秋のリーグ戦ではチーム全員で全国制覇を目指したいです。

総合関関戦ではメンバー全員4年生で臨むことができました。試合中笑顔が多く、純粋に野球を楽しめました。また、リーグ戦同様に応援してくれた応援団と後輩たちには感謝しかありません。

大野凌生(社安4・常葉菊川)

柳楽啓太(経4・大社)

倉橋 望(総情4・岡山理大附)

最後の公式戦と思って臨んだ試合ですごく楽しかったです。今までにない応援の中プレーするのは緊張もしたけど、最上級生だけできる最後の試合だったので、楽しみながらプレーができ、勝てたことは良かったと思います。

大学生活で初めて公式戦ユニフォームに袖を通し、4年生と最高の笑顔でプレーできた時間はとても幸せでした。苦しいことばかりでしたが、応援に駆けつけてくれた両親の前で、関大のユニフォーム姿でタイムリーを放つことができました。野球が大好きです。

私にとって総合関関戦は、10年以上続けてきた野球の中で一番楽しくプレーすることができたと思うと同時に、もっと野球が上手になりたいと感じた試合でした。大学野球も残り数か月ですが、秋に日本一になるためにも、自分の立場で貢献したいと思います。

辻健太郎(人間4・関大北陽)

村本大輝(法4・岡山理大附)

藤木康太郎(社4・須磨学園)

総合関関戦を通して、4年生の結束力の強さを感じました。真面目に地道に努力を重ねてきた選手が多く、それぞれ良い結果を出すことができたので、努力をしてきて良かったと思う選手も多かったと思います。秋のリーグ戦では試合に出る者、出ない者がいますが塊のパワーで相手を圧倒し、各持ち場立場でチームに貢献し、全国制覇を成し遂げたいと思います！

福重大和(社4・戸畑)

この総合関関戦では、改めて関西大学の応援の偉大さに気づきました。普段はスタンドから応援する立場ですが、今回はベンチに入りました。スタンドから送られる応援にはとても迫力があり、改めて野球部で良かったと思ったのと同時に、リーグ戦はチーム一丸となって優勝したいと感じました。



村上翔太(商4・上宮太子)

このニュースレターをご覧の皆様にも、ぜひ秋のリーグ戦にお越しいただき、私たちと一緒に関大野球部の応援をしていただきたいと思います。よろしくお願いたします！さあ、関大の応援をしに、球場へ行こう！

# 秋季リーグ戦開幕！

夏季オープン戦、関東遠征を乗り越え、いよいよ秋季リーグ戦が開幕します！

関大の初戦は9月7日(土)、立命館大学と対戦します。ラストシーズンを迎える4年生に意気込みを聞きました。

日時				対戦校	球場	
8月	31日	土	9:30	開会式	わかさスタジアム京都	
9月	7日	土	10:30	立命館大学	皇子山球場	
	8日	日	13:00			
	9日	月	未定			
	15日	日	13:00	京都大学	ほっともっとフィールド神戸	
	16日	月・祝	10:30			
	17日	火	未定			
10月	2日	水	12:00	同志社大学	南港中央野球場	
	3日	木				
	4日	金				未定
		12日	土	10:30	近畿大学	ほっともっとフィールド神戸
	13日	日	13:00			
		14日	月・祝	未定		
		18日	金	13:00	関西学院大学	わかさスタジアム京都
		19日	土	10:30		
	21日	月	未定			

春季リーグ戦ではご声援いただき、ありがとうございました。いよいよ4年生にとって最後のリーグ戦が開幕します。チームは、この夏4年ぶりに関東遠征を行いました。今年の大学選手権大会で優勝した明治大学などと試合を行い、全国レベルの組織力を体感しました。そこで感じたのは、私たちにも「全国制覇」の可能性が大いにあるということです。今季オープン戦では、試合後に選手間ミーティングを行うなど、チーム力向上に取り組んできました。秋こそは必ず優勝できるよう、部員197名の想いを一つに、関大らしくベンチ、スタンドが一体となり、



、スローガンである「一丸突破」を体現していきます。ぜひ、球場に来ていただき、応援よろしくをお願いします。

主務・大島領太郎(文4・関大一)



春は、悔しい思いをしたので、より練習に励む環境を整えました。今までは、午前か午後どちらかで練習を行うことが多かったですが、1日練習を行う日を増やすなど、全員が野球に向き合う時間を長くしました。これにより、個人の技術向上はもちろん、チーム力の向上にもつながり、試合ではより一丸となった姿で戦えるようになったと思います。秋は、就職活動に専念していたメンバーもグラウンドに帰ってきて、全員団結できるので、春よりもさらにスタンドとベンチが一丸となり、大きな力を発揮したいと思います。

主将・松島恒陽(人間4・履正社)

春季リーグ戦は、応援していただきありがとうございました。4位という屈辱の結果をしっかり受けとめ、今、チームは一球、一点を大切に練習に取り組んでいます。ウエイトトレーニングに取り組む者も増えて、秋は春とは一味違う関大野球部の姿を見せられると思います。また、4年生は最後のリーグ戦なので、下級生に良いものを残せるように、必死のパッチのパッチパッチで日々取り組んでいます！神宮で優勝するためにも、まずはリーグ戦を制覇できるよう全力で挑みますので、引き続き応援よろしくをお願いします。



副将・上田竜也(政策4・敦賀気比)

オープン戦や関東遠征の詳細情報は、関大野球部SNSで公開しています！



HP



マネージャーブログ



Instagram

Instagramの  
リーグ戦開幕企画  
もご覧ください★

# チャレンジリーグ

日時				対戦校	球場
9月	5日	木	13:00	立命館大学	豊中ローズ球場
	29日	日	10:30	関西学院大学	関学 G
10月	5日	土	10:30	同志社大学	関大 G
	20日	日	10:30	近畿大学	近大 G
11月	16日	土	10:30	京都大学	豊中ローズ球場

この春の前期チャレンジリーグでは、1勝4敗で5位という悔しい結果に終わってしまいました。打撃や走塁など技術的な課題が見つかったと思います。また、個々の課題とは別に、ベンチワークや声出し、全力疾走などの根本的なところが疎かになっていたと感じた選手は多かったと思います。一方で、前期チャレンジリーグはスタメンが毎試合のように変わり、多くの選手が試合に出場することができました。

そこで今回は、前期チャレンジリーグを通して輝いた選手と、後期チャレンジリーグ注目選手に話を聞いてみました。

## ～前期輝いたルーキーたち～

### 全試合出場のスーパールーキー

持ち味である広角に打ち分けるバッティングを武器に、1年生ながら打線の



中核を担う。全試合先発出場を果たし、攻守でチームに貢献。今期は最優秀選手を目指す！

小河英一郎(商1・大社)

### 香川が生んだ長距離砲

京都大学戦で初先発を果たすと、チーム唯一のマルチ安打を記録。勝利の立役者



となった。さらに夏季オープン戦ではホームランを放つなど、さらに成長を続ける内田に注目が集まる！

内田峻太(政策1・大手前高松)

### チャレンジリーグ 代打の神様

立命館大学戦では代打で左前安打を放ち印象を残した。また、同志社大学戦で



も満塁のチャンスで打席に入り、見事打点を挙げる活躍を見せた。今期は先発出場に期待がかかる！

内匠健介(人間2・関西大倉)

昨年は前期チャレンジリーグ5位という悔しさをバネに、後期は見事優勝を果たしました。後期チャレンジリーグ二連覇を目指しルーキーたちが奮闘します！そこで後期チャレンジリーグ優勝の鍵となる注目選手を紹介します。

## ～後期注目選手～

### 選手からの注目 No1! 関大屈指のスピードスター

前期チャレンジリーグでは2試合に先発出場。

攻守での活躍が期待されます。



夏目緑太(法1・三重)

自分の武器である走力を活かして、少しでもチームの勝利に貢献できるように頑張ります。応援よろしくお祈いします！

### 逆襲に燃えるキャプテン

前期チャレンジリーグキャプテンの川崎は、近畿

大学戦で2本の二塁打を放つなど大活躍しました！



川崎圭汰(法2・関大北陽)

前期は5位という悔しい結果で終わり、個人としてもチームに貢献することができなかったのが、後期は連覇を目指して、チームに貢献したいです！

## ～番外編～

前期チャレンジリーグ最終戦・同志社大学戦で先発出場した試合を最後に、選手を引退し学生コーチとなりました。最終戦では2安打を放ち、好守でチームを支えました。今後は学生コーチとしてチームのために活躍してくれます！

現役最後の試合ということで緊張しましたが、楽しんでプレーすることができました。ここまで野球をさせてくれた親に感謝したいです。これからは、チーム目標にある全国制覇のために学生コーチとしてチームを支えていきます。



森下翔太(政策2・大社)

# 新設！KBF BOOKS

この夏、KAISERS BASEBALL FIELD 本部棟 2階に、図書スペースを新設しました！練習に励むことに加えて、考え方や人格の面からもレベルアップを図ります。

まず、致知出版社が発行している人間学を学ぶ月刊誌『致知』の購読を始めました。そして、その開巻1ページに掲載されている致知出版社社長・藤尾秀昭さんの言葉を集めた、『小さな人生論「致知」の言葉』（藤尾秀昭/著 致知出版社）という本を購入しました。『致知』を実際に読むまでは、経営者や働く大人が読む雑誌だという印象がありました。しかし、「巻頭の言葉」や「私の座右の銘」には私たち大学生が知らない言葉や考え方が、紹介者の生き方や考え方と同時にわかりやすく書かれており、自分の考え方に新たな視点をもたせてくれます。また、連載の一つに「二十代をどう生きるか」というものがあり、著名人の現在に至るまでの挫折、経験から生き方のヒントが書かれています。今まさに二十代を生きている私たちにとって、一つの生き方の例として大いに参考になります。このような、人生にわたって生かせる文章を読み、どのように野球や大学生活に生かせるかを考える習慣を身につけてほしいと思います。



KBF BOOKS

よんでみませんか

No.1  
2018.08.20

『日本でいちばん大切にしたい会社』  
坂本光司著/あさ出版

**○おススメポイント○**

- ① 野球部の使命と目的は？
- ② 人は、どんなことに幸せを感じるだろう？
- ③ 「全国制覇」という目的の、本当の意味は？

会社の話ではありませんが、  
こんなことを考えながら読むと、  
今の生活にも活かせると思います！

この本は、著者が「大切にすべきだ」と考える、正しい経営をしている企業を紹介しています。「会社の話やったら、今はまだ関係ないわ」と思うかもしれませんが、今現在、ここにいる全員が企業の影響を受けて生活しているし、近い将来企業で働くことになるし、そのような視点からでも、新しい発見がたくさんある本ですが、「おススメポイント」で紹介したように、今の自分に置き換えて考えることができる内容です。

① 第1部 20ページから、会社経営の「**五人に対する使命と責任**」について書かれています。会社にとって一番はお客様ではなく、社員とその家族がそうです。他の四人はいいじゃないでしょうか？ちなみに、お客様は三番目です。これを、野球部に置き換えてどうなるでしょうか。

② 第2部 49ページには、「**幸福とは、①人に愛されること、②人にほめられること、③人の役に立つこと、④人に必要とされること**」とあります。納得できますか？「なるほど、その通りやな」と思う場合、それを実現するためにはどうすればいいと思いますか？「自分の幸福とはちやうど」と思う場合は、自分が幸福になるにはどうすればいいと思いますか？

③ 82ページには、「**いい会社をつくりましょう**」という、ある会社の基本方針について書かれています。「いい会社ってざっくりしすぎじゃない？」と思うかもしれませんが、その下にはきちんと、それを実現する具体的な目的と方法があります。では、野球部の掲げている「**全国制覇**」という目標はどうでしょうか。たった一つの地位を指した、最終的に具体的な目標だと自信を持てますか？そういう風に見せかけて、具体性が欠けていませんか？この部分を読むだけでも、理想や目的を実現するための設計のヒントになるはずですよ。

少しでも気になったことがあれば、2階に来て本を手にとってみてください！質問があればいつでも歓迎します。私の考えで答えます。みんなの意見もぜひ聞かせてください。

マネージャー 三浦寧々

また、8月からは『よんでみませんか』と題して、マネージャーが選手にぜひ読んでほしい一冊を、ベンチ裏の掲示板で紹介しています。第1回目はマネージャー三浦（文4・神戸山手女子）が担当し、小田コーチ推薦の『日本でいちばん大切にしたい会社』（坂本光司/著 あさ出版）を紹介しました。少しでも多くの人に興味を持ってもらい、実際に手に取ってくれる部員が一人でも増えるように、これからも工夫を凝らしていきたいと思っています。

上記で紹介した本以外にも、OB・OGの方々などの寄付により蔵書数を増やしています。そこで、このニュースレターの読者の皆様にも、大学時代に読んでよかった、読んでおけばよかったと思う本があれば、ぜひ教えていただきたいと思っています。推薦する理由や体験談があると、部員たちもより興味深くその本を手にとることと思いますので、併せて教えていただけると幸いです。同封しておりますFAXシートにご記入いただくか、Instagramのダイレクトメッセージなどでご意見をお聞かせください。

皆様のご意見をお待ちしております！

## 編集後記

左から、大島 領太郎(文4・関大一)、三浦 寧々(文4・神戸山手女子)

奪首×Dash！第35号はいかがでしたか？今回は、4年生全員で挑んだ総合関関戦、そして最後のリーグ戦に向けての記事を書くにあたって、自分たちの手で書こう、最後にもう一度ニュースレターを作ろうと同期二人で話をし、4年生マネージャーが主として作成に当たりました。普段はあまり聞くことのないチームメイトの想いに触れ、私たちもリーグ戦への気持ちが高まりました。

いよいよリーグ戦の開幕です！全員で優勝を味わいたい、神宮で勝ちたいという強い気持ちを胸に、最後まで全力で、「一丸突破」で戦ってまいりますので、ご声援よろしくお願いたします！

